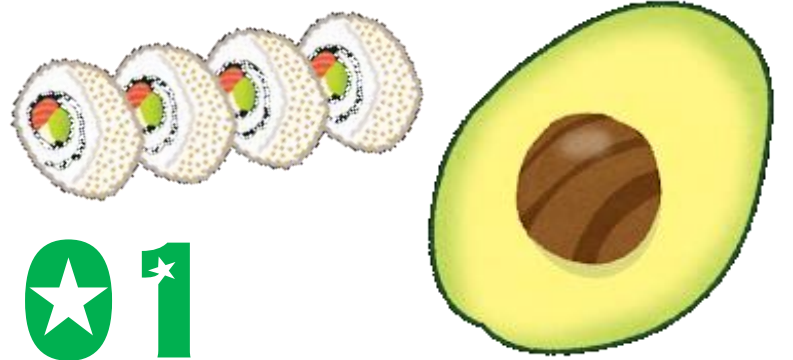


アボカドを種から育てよう 01



コロナ禍でも、多くの方々に公民館講座を体験していただくため、あえて受講生を集めず、ポスター、冊子、ウェブサイトなどで講座内容をお伝えします。ぜひ、この機会に「**新型**公民館講座」を体験してくださいね。

アボカドを食べた後、種を捨てていませんか？その種を土に植えると発芽し、アボカドの木になっていくのです♪ 栽培方法は、下記のとおり。

本講座では、普段は捨てているアボカドの種を育てて、
・園芸技術を学びながら、
・自然と共に生きる素晴らしさを体感します。
人類は、太古から自然の中で生きてきました。しかし、現在、自然と触れ合う時間が少なくなっています。緑と触れ合えば、人間本来が持つ五感が活性化し、体調が良くなると言われていています♪



まず、種植えは、20℃程の気温を保てる5～9月が適期です。(大阪の場合)この時期以外なら、来年まで本講座を受講し、準備するのはどうでしょう。

①種をよく洗って、少し乾燥させます。



②皮を剥きます。発芽促進のため。



③写真のような紙ポットと、受け皿を用意します。紙ポットは、そのまま植え替えることができ、時間が経つと土になります。★ホームセンターや100円ショップなどで購入できます。



④ポットに園芸用の土を入れます。土も、ホームセンターや100円ショップなどで売っています。



⑤種は、少し細くなっている方を上にして、半分くらい隠れるように植えます。6/27

⑥種とお皿の両方に水を入れます。



⑦水が染みていきます。受け皿の水は切らさないようにしてください。



⑧午前は、樽井公民館の2階へ上がる階段の途中、午後からは西側の庭においています。マスクを着けて見に来てね！



乾燥に注意

⑨6/28 現在、発芽を待っています。アボカド君、がんばれ～第2弾へ続く♪



アボカド栽培

検索



園芸療法

検索



泉南市公民館最新情報

検索